

分野7：南西アジア諸国との関係の強化

中期目標：

南西アジア諸国との二国間関係を更に強化し、地域の平和と安定を確保し、地域の成長を日本の成長に取り込んでいく。南西アジア諸国との間で自由で開かれたインド太平洋（FOIP）の実現に向けた協力を進めていく。

過去3年度（令和5～7年度）の主な成果	課題及び今後の方向性
1【インドとの「特別戦略的グローバル・パートナーシップ」の拡大・深化】 ● 首脳・外相間の緊密な関係を基盤として、日印の「特別戦略的グローバル・パートナーシップ」を、安全保障、防衛、貿易、投資、通商、科学技術、技能とモビリティ（鉄道、道路、航空、船舶などの交通・運輸分野）、文化交流、人的交流など、多岐にわたる分野で大きく拡大させた。 ● 特に、令和7年8月のモディ首相訪日の際、「特別戦略的グローバル・パートナーシップ」への格上げ後10年間の日印関係を総括した上で、基本的価値を共有する両国が互いの強みをいかし合い、相互補完的な関係を構築していくという今後10年間の協力の方向性を発表した。また、協力の方向性を具体化していくための方策を（1）安全保障、（2）経済・投資・イノベーション、（3）人的交流の3つの分野で確認し、「日印首脳共同声明」や「今後10年に向けた日印共同ビジョン」などの成果文書に反映させた。さらに、「日印安全保障協力に関する共同宣言」（平成20年発表）の改訂、経済安全保障分野における具体的協力を列挙した「日印経済安全保障協力ファクト・シート」の公表、日印間の相互補完的な人材の育成・交流・還流の促進を盛り込んだ「日印人材交流・協力アクションプラン」を発表した。 2【首脳・外相会談を含む様々なレベルでの対話の推進及び交流の促進（インドを除く）】 ● スリランカ：首脳・外相級の往来が相次いだ。特に、令和7年9月に訪日したディサナヤケ大統領との首脳会談で「包括的パートナーシップ」の下での更なる関係強化を確認した。日・スリランカ共同声明を発出し、初の対スリランカ政府安全保障能力強化支援（OSA）案件として警戒監視・災害対処用無人航空機の供与に	1【インドとの「特別戦略的グローバル・パートナーシップ」の拡大・深化】 ● 人口が世界第1位、経済規模が世界第5位のインドは、国際社会における存在感を高めている。日本とインドは、基本的価値や戦略的利益を共有し、FOIPを実現する上で重要なパートナーである。 ● 首脳・外相を始めとする政府ハイレベルでの緊密な関係を維持し、令和7年8月のモディ首相訪日時に打ち出した「今後10年に向けた日印共同ビジョン」に基づき、安全保障、経済・投資・イノベーション、人的交流の3つの柱で協力を深化させる。また、令和9年は日印国交樹立75周年の節目にあたり、周年事業などの実施を通じて、日印間の交流を更に深め、国民間の距離を一層縮める。 2【首脳・外相会談を含む様々なレベルでの対話の推進及び交流の促進（インドを除く）】 ● 南西アジア諸国との対話を推進する観点から、政府ハイレベルの往来や国際会議などの機会を通じて、時宜を得た対話を実施し、あらゆる分野での二国間協力の進展にはずみをつける。また、事務レベルの協議を通じ、二国間関係の継続的強化を図る。さらに、各国の実情に応じた適切な支援・協力を進め、関係を強化する。

分野7：南西アジア諸国との関係の強化

過去3年度（令和5～7年度）の主な成果

関する交換公文（E/N）の署名・交換を行ったほか、「輸出志向型産業回廊構築に向けたロードマップ」に基づく議論を深めていくことで一致した。また、同年11月以降のサイクロン被害に対しては、国際緊急援助隊の医療チームを派遣するなど、包括的な緊急人道支援を展開した。さらに、令和6年7月、日仏印を共同議長とする債権国会合をリードし、[スリランカとの間で債務再編に関する覚書を署名](#)した。

- [ネパール](#)：令和6年5月、[上川外務大臣がネパールを訪問](#)し、ポードル大統領及びダハル首相を表敬訪問し、シュレスタ外相と会談した。令和8年2月には、[ポードル大統領を実務訪問賓客として招待](#)し、天皇皇后両陛下が御会見及び高市総理大臣との会談などを実施したほか、外交関係樹立70周年記念レセプションを開催した。また、同年3月、ネパール連邦下院議会選挙に際し、[島田外務大臣政務官を団長とする選挙監視団を派遣](#)した。
- [パキスタン](#)：令和5年7月に[ブットー外相が訪日](#)し、岸田総理大臣表敬訪問並びに林外務大臣との外相会談及びワーキング・ランチを実施し、伝統的な友好関係をあらゆる分野で一層発展させていくことで一致した。また、令和6年及び7年には、日・パキスタン・ハイレベル経済協議（次官級）、令和8年には官民合同経済対話などを実施し、二国間の経済協力の進展に向けて意見交換を行った。
- [バングラデシュ](#)：令和6年8月の暫定政権樹立後、令和7年2月には[生稲外務大臣政務官がバングラデシュを訪問](#)、同年5月には[ユヌス首席顧問が訪日](#)し、「戦略的パートナーシップ」へのコミットメントを再確認した。令和8年2月には、日・バングラデシュ防衛装備品・技術移転協定及び日・[バングラデシュ経済連携協定（EPA）](#)への署名を行った。また、同年3月、バングラデシュ第13次総選挙に際し、選挙監視団を派遣した。
- [モルディブ](#)：令和5年5月、[シャーヒド外相が訪日](#)した。同年7月に[林外務大臣がモルディブを訪問](#)し、無償資金協力「人材育成奨学計画」に関する書簡の署名・交換を実施した。また、令和7

課題及び今後の方向性

- 令和8年は、日・ネパール外交関係樹立70周年及び日・ブータン外交関係樹立40周年を迎え、令和9年は、日印国交樹立75周年、日・バングラデシュ外交関係樹立55周年、日・モルディブ外交関係樹立60周年、日・パキスタン外交関係樹立75周年及び日・スリランカ外交関係樹立75周年を迎える。こうした周年を契機に、周年関連事業の実施を通じ、人的交流、文化交流などを促進する。

分野 7 : 南西アジア諸国との関係の強化

過去 3 年度 (令和 5 ~ 7 年度) の主な成果

年 7 月、独立 60 周年記念式典に際し、[生稲外務大臣政務官](#)が総理大臣特使として[モルディブ](#)を訪問し、ムイズ大統領及びカリール外相への表敬訪問を通じて二国間関係の強化を確認するなど、様々なレベルでの対話を推進させた。さらに、無償資金協力「マレ島における災害に対する強じん性向上計画」(護岸整備など)に関する書簡の署名・交換を行った。

- [ブータン](#) : 令和 8 年 3 月、[トブゲー首相](#)が訪日し、高市総理大臣との首脳会談において、令和 8 年の外交関係樹立 40 周年を契機に二国間関係を一層強化することで一致したほか、「王立感染症センター」や、AI データセンターの構築などを通じて、ブータンの社会・経済開発を通じた強じん性の強化に向けて協力していくことを確認した。また、この機会に実施された外交関係樹立 40 周年記念レセプションには両国関係者など約 100 人が出席し、交流の機運を高めた。

3 【南西アジア及びインド太平洋地域の平和と繁栄に向けた様々な支援・協力の実施】

- インドとの間では、安全保障分野において、令和 6 年 8 月に第 3 回日印外務・防衛閣僚会合(「2 + 2」)を実施し、令和 7 年 8 月の[モディ首相訪日](#)に際して「[日印安全保障協力に関する共同宣言](#)」を改訂した。経済安全保障分野では、令和 6 年 11 月に次官級の「日印経済安全保障対話」を初めて開催し、令和 7 年 8 月のモディ首相訪日に際して、「経済安全保障イニシアティブ」を立ち上げた。令和 8 年 1 月の[茂木外務大臣訪印](#)時には、第 18 回日印外相間戦略対話を実施、「日印民間経済安全保障対話」の立ち上げ及び「鉱物資源に関する合同作業部会」の早期開催で一致した。
- インド以外の諸国との間でも、政府開発援助(ODA)を通じて海洋協力の拡充などのための支援を実施したほか、バングラデシュ及びスリランカへの OSA による警備艇や無人航空機の供与を通じ、南西アジア地域の平和と安定に寄与した。

課題及び今後の方向性

3 【南西アジア及びインド太平洋地域の平和と繁栄に向けた様々な支援・協力の実施】

- 一層厳しさを増す地域・国際情勢の中で、地域の平和と安定に向けて南西アジア諸国との意思疎通を深め、自由で開かれた国際秩序の維持・強化に向けた連携を引き続き推進していく。
- FOIP の実現に向け、ODA、OSA などを活用し、南西アジア諸国との海洋協力の拡充や、海上保安機関及び防衛当局との間の交流強化を実施する。同時に、連結性強化に資する支援・協力を実施し、地域の安定と持続的な発展を引き続き後押ししていく。
- 経済安全保障や AI 協力などの新分野での協力を推進すべく、インド含め南西アジア諸国と官民一体での連携を重層的に強化していく。

分野7：南西アジア諸国との関係の強化

過去3年度（令和5～7年度）の主な成果

- 連結性強化の観点では、ミャンマー、バングラデシュ、ブータンとの国境に接するインド北東州の国道整備などにより、交通円滑化による連結性向上を図っている。令和5年3月には、FOIPの実現に向けた取組として、ベンガル湾地域全体の連結性向上を目指す「産業バリューチェーン構想」を発表し、「ベンガル湾産業成長地帯（BIG-B）」構想の下での協力をインド北東部の開発と有機的に連結させることでインド太平洋地域の平和と繁栄に向けて貢献している。
- モルディブ、バングラデシュ及びネパールへの選挙監視団の派遣を通じて、南西アジア諸国における民主主義の定着と安定的な権力委譲を支援した。

課題及び今後の方向性

参考：

- ・ 外交青書（第2章第2節第5項：[令和6年版](#)、[令和7年版](#)、[令和8年版](#)）
- ・ [アジア](#)（[インド](#)、[スリランカ](#)、[ネパール](#)、[パキスタン](#)、[バングラデシュ](#)、[モルディブ](#)、[ブータン](#)）
- ・ [第3回日印外務・防衛閣僚会合（「2+2」）](#)（令和6年8月20日）
- ・ <要人往来・会談>
- ・ [モディ・インド首相の訪日](#)（令和7年8月29日～30日）
- ・ [茂木外務大臣の訪印](#)（令和8年1月15日～17日）
- ・ [ディサナヤケ・スリランカ大統領の訪日](#)（令和7年9月27日～10月1日）
- ・ [ポーデル・ネパール大統領の訪日](#)（令和8年2月2日～4日）
- ・ ブットー・パキスタン・イスラム共和国外務大臣による訪日（令和5年7月1日～4日、[岸田総理大臣表敬](#)、[外相会談及びワーキング・ランチ](#)）
- ・ [モハマド・ユヌス・バングラデシュ人民共和国首席顧問の訪日](#)（令和7年5月28日～31日）
- ・ [林外務大臣のモルディブ訪問](#)（令和5年7月30日）
- ・ [トブゲー・ブータン首相の訪日](#)（令和8年3月12日～17日）

分野 7 : 南西アジア諸国との関係の強化

参考 :



要人往来数

※日本側は総理大臣及び外務省政務三役、相手国は原則として元首、首脳、外相

国別	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
インド	7 回	2 回	3 回
スリランカ	3 回	3 回	2 回
ネパール	0 回	1 回	4 回
パキスタン	1 回	0 回	0 回
バングラデシュ	3 回	2 回	2 回
モルディブ	4 回	0 回	1 回
ブータン	0 回	0 回	1 回